

# 第1学年5, 6組 男子 保健体育科 学習指導案

指導者 藤原 正徳

## 1 単元 武道(剣道)

### 2 単元について

- (1) 剣道は、剣道具を着け、竹刀を持って相手と対し、互いに相手の動きや技に応じて打つ、かわすなどをしながら対戦する対人的スポーツである。そのための竹刀の操作や身体動作、相手との「攻め合い」などが重要となる。また、我が国古来の剣術から発生したスポーツであり、伝統的な礼法や行動の仕方、練習方法(稽古)を学びながら、安全に練習や試合が行えるよう相手を尊重する公正な態度が要求される。

剣道は、武道の特性としての長い歴史を持つものであるが、武道が必修となり、日本古来の伝統のすばらしさに加え、対人的スポーツとしての楽しさを感じさせることのできる運動領域といえる。

- (2) 本学級は、5組16名・6組18名・計34名のクラスである。全体的に落ち着いた状態で学習に臨んでいる。保健体育の学習にも積極的にまじめに取り組む生徒が多い。経験者は現在剣道部員が2名いるだけである。

特別支援学級(情緒障害)の生徒が6組に1名在籍している。1学期の保健体育の授業「体育祭組立体操練習」などは見学が多く、体育祭当日もけがのため見学であった。保健の授業でもノートを一人でとることが難しい状態である。しかし、クラスの生徒はよく気がつき、色々な場面で支援ができています。

- (3) 指導に当たっては、以下の点に留意して進めていきたい。

- ① 道着・袴を着装するときは、4人組で行い、常に互いに協力し合うことを意識させる。
- ② 準備運動では常に補強運動を取り入れ、「凜」とした空気を大切にしつつも、声を出しやすい雰囲気作りを心がけたい。
- ③ 「剣道基本技稽古法」(全日本剣道連盟制作 DVD)を教材とし、「形の習得」を柱としながら学習を進めたい。その際、常に対人を意識させ、相手と向き合い、息を合わせる中で剣道の攻防の楽しさを味わわせたい。

### 3 学習指導目標

- (1) 常に対人を意識させ、基本4人組で、道着・袴の脱着をできるようにさせる。
- (2) 正しい礼儀作法を身に付け、相手を尊重して意欲的に稽古に取り組ませる。
- (3) 正しい基本動作を身に付け、正確な打突(寸止め)をできるようにさせる。

### 4 学習指導計画・・・全9時間

- (1) 剣道基本技稽古法DVD視聴 ..... 1時間
- (2) 剣道着の装着・基本動作・木刀の扱い方 ..... 2時間
- 剣道基本技稽古法 基本1.2 一本打ち・二、三段の技 ..... 1時間
- (3) 剣道基本技稽古法 基本3.4 払い技・引き技 ..... 1時間
- 剣道基本技稽古法 基本5 抜き技 ..... 1時間 本時
- 剣道基本技稽古法 基本7.9 出ばな技・打ち落とし技 ..... 1時間
- (4) 4人組で発表会稽古 ..... 1時間
- (5) 発表会及び評価 ..... 1時間

5 本時の学習指導目標

- (1) 主題 ・正しい基本動作で、大きな声を出して、正確に強く打つことができる。  
 ・基本5 「抜き技」の稽古に意欲的に取り組むことができる。

(2) 目標

| 関心・意欲・態度                 | 思考・判断                             | 技能                   | 知識・理解                  |
|--------------------------|-----------------------------------|----------------------|------------------------|
| 4人組で協力して基本稽古に取り組むことができる。 | 掛手と元立の動き(タイミング)を合わせることを考えることができる。 | 「抜き技」の基本動作を行うことができる。 | 基本稽古の名称と動きを一致することができる。 |

(3) 本時の工夫点

- 視覚的に動きを確認するための工夫  
 ・DVDを自分で操作・視聴し、基本の動きを再確認させる。

(4) 学習指導過程

| 学習内容及び学習活動              | 教師の支援活動や評価  |
|-------------------------|---|
| 1 集合・あいさつをする。           | ○集合・整列させ、出席確認を行う。   |
| 2 準備・補強運動をする。           | ○大きな声を出して行わせる。  |
| 3 道着・袴を着ける              | ○4人組で協力しながら正しく着用させる。お互いに確認しながら進めさせる。  |
| 4 素振りを行う。<br>「向かい合って行う」 | ○巡回しながら助言指導を行う。特に大きな声を出している組を賞賛する。<br>○足さばき、木刀の振り方など「技能的なポイント」についても助言指導を行う。 |
| 5 本時の学習課題の確認をする。        |   |

**基本5「抜き技」を習得しよう**

|   |  |
|---|--|
| 6 基本5「抜き技」の稽古をする。<br>「元立」役<br>「掛り手」役を決める  | ○「抜き技」について、剣道部員を例に説明する。<br>○一斉に掛り手・元立の動きを稽古させる。<br>○全体の稽古の様子を巡視しながら確認し、発表会で行わせる組を選定しておく。   |
| 7 取り出し発表会をする。   | ○数グループに発表させ、お互いの技を見ることで意欲を高揚させる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">評価【観点:基本技の技能 (観察・自己評価カード)】<br/>「抜き技」の基本を理解し、意欲的に稽古することができたか。</div> |
| 8 本時のまとめをする。  | ○本時の学習でよかったところをしっかりと褒め、次時の意欲付けとしたい。<br>○稽古の様子から現在の課題について話し、まとめとする。   |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">基本5「抜き技」を習得することができたか</div> |  |